

徳島県職員等採用試験（大学卒業程度）
第2次試験 論文試験について

- 1 出題数 1問
- 2 解答時間 1時間30分
- 3 文字数 約1,000字
- 4 過去3年間の論文課題

平成29年度

※建築Bは論文試験未実施のため例題はありません。

【行政事務・学校事務・警察事務・薬剤師・管理栄養士・保健師】

テーマを1つ挙げ、「徳島県の10年後の姿」と、そこに至る課題について述べるとともに、それを実現するためにどのように取り組んでいくのか、具体的に述べなさい。

【電気】

県では電気事業や工業用水道事業を実施しており、地震、台風、大雪等による災害発生時においても設備の機能を維持し、電気や工業用水を安定的に供給することは重要なことである。

電気の技術者として、災害発生時における電気設備の被害を最小限とし、安定供給に支障がないようにするために、平常時の備え、発災後の対応等において必要なこと、重視すべきこと等について、あなたの考えを述べなさい。

【機械】

本県では、豊かな自然エネルギーを活かし、2030年度における県内の自然エネルギー自給率を37%とするため、太陽光、風力や小水力発電などの導入を進めているところである。

今後、さらに自然エネルギーの導入を進めるための課題とその方策について、機械技術者の視点から、あなたの考えを具体的に述べなさい。

【建築A】

人口減少，世帯数の増加率の鈍化，新規住宅着工数の低迷が続く中，急増する空き家を利活用又は除却をせずにそのままにしておくと，腐朽・破損が進み，地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼすことが懸念されている。

空き家問題に対するあなたの考えと，住宅政策の面から講じられるべき有効な方策について述べなさい。

【総合土木】

徳島県は急しゅんでぜい弱な山地が多く，また，吉野川や那賀川を代表とした多くの河川が流れている。加えて，台風の常襲地域であることから，これまでも土砂災害や浸水害など多くの災害が発生している。

さらに，切迫する南海トラフ地震並びに，中央構造線活断層帯をはじめとする活断層地震による揺れ及び津波対策も本県の重要課題である。

そこで，あなたが考える徳島県において最も優先的に取り組む必要のある災害リスクを挙げ，そのリスクを回避するために，県として行うべき対策について，土木技術者の視点から述べなさい。

【農業】

農産物の価格低迷が続く中，農産物の販売促進，農業従事者の所得向上を図るための方策の一つとして「農業の6次産業化」が推進されており，農産物の加工・販売のほか，企業との商品開発や新たな経済的価値を生み出すための異業種との連携なども行われている。

こうした中，本県農業の特徴を活かし，「農業の6次産業化」を推進するため，あなたが考える企画案を挙げ，その理由について，具体的に述べなさい。

【林業】

徳島県では、全国に先駆け、平成17年度から「搬出間伐」を中心とする「林業プロジェクト」を実施しており、平成27年度からは、「主伐」から「植林」、「育林」までの「森林サイクル」を取り戻し、雇用を創出するとともに、森林資源の循環利用による森林林業を核とした地方創生の実現を目指す「新次元林業プロジェクト」に取り組んでいる。

一方、充実してきた森林資源とは逆に「林業就業者数」は全国的に減少を続けている。

このため、減少してきた「林業就業者」の育成・確保の一環として、徳島県では「とくしま林業アカデミー」を平成28年度に開講し、1期生11名全員がこの4月に県内の林業事業体に就職したところである。

これらを踏まえ、徳島県において、「林業就業者」の育成・確保のためには、どんな課題があり、何を行うべきか、あなたの考えを述べなさい。

[平成27年国勢調査結果（林業就業者数）]

全 国 昭和50年：約17万9千人 → 平成27年：約6万4千人（昭和50年比 35.6%）

徳島県 昭和50年：約4千4百人 → 平成27年：約820人（昭和50年比 18.9%）

【水産】

徳島県は、「播磨灘」、「紀伊水道」、「太平洋」の3つの特徴がある「豊かな海」を有し、それぞれの特性に応じた様々な漁業が営まれているが、地球温暖化をはじめとする気候変動や人間活動による沿岸域の開発など、漁場環境に変化をもたらす様々な要因・現象により、昨今、漁獲量の減少や漁業対象魚種の変遷が見られるなど、漁業を取り巻く環境は厳しさを増している。

こうした中、徳島県では、水産資源の増大と持続的な利用を確保すべく、資源管理や種苗放流、藻場の保全・再生など「豊かな海」を育む取組を漁業関係者とともに推進しているところである。

そこで、あなたが考える「豊かな海」を定義した上で、「播磨灘」、「紀伊水道」、「太平洋」の海域から一つを選択し、その特徴を踏まえ、「豊かな海」を実現するために、どのような施策を展開すべきか、あなたの考えを述べなさい。

【心理】

相談機関や医療機関などで初めて相談（診察）に来た人を受け入れる場合には、通常、まず「インテーク面接」を行うが、それはどのような目的で実施されているのか、初めての来談者に対しては、どのような説明が必要かについて述べなさい。

また、「インテーク面接」では、どのような情報（内容）を把握（記録）しておくべきか、特にどのようなことに配慮（注意）しておくべきかなど、「インテーク面接」の意義や特性について具体的に述べなさい。

【化学】

「安全であるが、安心ではない」、「安心を得る努力をします」など、東京都の築地市場の豊洲への移転に関する土壌汚染問題では、「安全」及び「安心」という言葉がクローズアップされた。

身近な環境問題等の事例を示しながら、あなたが考える「安全」及び「安心」と、また、それらを他者に理解していただくにはどのような説明をすべきか、あなたの考えを述べなさい。

平成28年度

【行政事務・学校事務・警察事務・薬剤師・管理栄養士・保健師・司書・少年補導職員】

徳島県が直面する課題を3つ挙げ、その優先順位と理由を述べなさい。

また、最優先の課題を解決するため、どのような取組をすればよいと思うか、考えを述べなさい。

【電気】

県では、電気事業を実施しているが、電気を安定的に供給するために必要なこと、重視すべきこと等について、電気の技術者の立場であなたの考えを述べなさい。

【機械】

工業用水は、台風や地震等による災害発生時においても、早期に復旧し、安定的に供給できることが求められる。

そこで、工業用水の安定供給確保のため、平常時における施設への対策について、機械技術者の視点から、あなたの考えを具体的に述べなさい。

【建築】

建築物の安全性確保や良好な市街地環境の形成を図るため、建築規制は不可欠のものであるが、時代ニーズに的確に対応した規制緩和が求められる一方、災害や事件・事故を契機に安全性確保に対する要求が高まっている。このような要求に的確に対応するため建築行政が果たすべき役割について、あなたの考えを述べなさい。

【総合土木】

平成24年12月に発生した中央自動車道・笹子トンネルの天井板崩落事故では、9名の尊い命が失われ、改めて、社会資本のメンテナンスの重要性が認識された。

本県においても、高度経済成長期に整備された多くの公共施設があり、今後、厳しい財政状況の中、戦略的な施設の維持・更新に取り組んでいかなければならない。

そこで、今後の本県の社会資本整備の適切な維持管理・更新に向けての方策について、土木技術者の視点から、あなたの考えを述べなさい。

【農業】

本県の農産物が国内はもとより世界の産地間競争に勝ち抜くためには、「ブランド化」の推進が必要不可欠である。

経済のグローバル化や東京一極集中の進展、さらには競合ブランドの台頭など、大きな変化が顕在化する中で、全国に誇る「高品質なとくしまの農産物」の一層のブランド化を進めていくため、「とくしまブランド戦略」を掲げて、「攻めの施策」を展開している本県は、今後どのような取組をすべきか、あなたが最も重要と考える課題を挙げ、その選定理由と課題解決に向けた方策について、具体的に述べなさい。

【林業】

森林の保全と森林資源の有効活用を両立するには、林業に従事し、森林管理や森林整備をはじめ、素材生産を担う人材の確保が大変重要となっている。特に、県産材の増産に直結する素材生産者を増やし、中でも若い就職者が大いに活躍できる環境を整えることが求められている。

徳島県では、平成17年の林業就職数が、過去最低の604人にまで減少したが、平成17年度から林業プロジェクトを開始し、これまでに150台を超える高性能林業機械を導入し人材育成に努めた結果、平成22年には837人と増加に転じ、特に35歳未満が126人と、平成17年の63人から倍増した。

このように、若者の林業就業が増えつつある状況を踏まえ、この流れを加速し、より一層、新規林業就業者の確保や育成を行うには、どのような取組が有効か、あなたの考えを述べなさい。

【水産】

我が国の漁業就業者数は年々減少しており、高齢化の進行も著しい。

一方、国民の職業・生活に対する価値観の多様化から、漁業は「就業の場」として注目されており、都市出身者が漁業への就業を希望するケースも少なくなく、こうした方々が円滑に就業できる対策が求められている。

そこで、漁業における「担い手の確保・育成」に係る課題と対応策について、具体例を挙げ、あなたの意見を述べなさい。

【化学】

徳島県には、製紙（和紙の製造）業、製塩業、藍染め、みそ・醤油・お酒といった発酵産業、鉱業（無機化学）等、少なくとも化学に関係する地場産業が基礎となり、近年の徳島を代表する企業が発展してきた経緯があるが、今後、地場産業の育成と新たな産業創出のため、県の役割について、化学的（総体的に科学的な視点でも良い）知見からあなたの意見を述べなさい。

【心理】

市町村の母子健康センターや子育て支援機関等では、発達障がい児などの早期発見・早期療育に力を入れているが、このことの意義と、課題・問題点を述べなさい。

平成27年度

【行政事務・学校事務・警察事務・薬剤師・管理栄養士・保健師・司書・少年補導職員】

国立社会保障・人口問題研究所の推計では、2060年の徳島県の人口は約42万人とされるが、本県はこれを60～65万人超まで確保すべく取り組んでいるところである。

そこで、人口減少に歯止めをかけ、県勢発展を図るためにはどのような施策が必要か、あなたの考えを述べなさい。

【電気】

近年、再生可能エネルギー（水力、風力、太陽光、バイオマスなど）が注目され、太陽光発電など、我が国の再生可能エネルギーの発電量は増加してきている。国は、2030年度の電源構成（エネルギーミックス）において、再生可能エネルギーの比率を22～24%とし、現在の10%程度から大幅に伸ばす方針である。

このためには、様々な課題もあると考えられるが、再生可能エネルギーの特徴を踏まえ、導入拡大を図るための技術的な課題と、課題の解決策について、あなたの考えを述べなさい。

【建築】

徳島県では、近い将来に発生が危惧される南海トラフの巨大地震に対して、『『とくしまー0(ゼロ)作戦』地震対策行動計画』を策定し、死者ゼロを目指した取組を進めている。この地震では、揺れによる被害に加え、津波による大きな被害も想定されている。地震による死者をゼロとするため、建築物やまちづくりにおいて講じるべき対策について、あなたの考えを述べなさい。

【総合土木】

南海トラフの巨大地震の発生が次第に切迫しつつある。地震が発生すれば、本県では、最大で死者3万人、全壊家屋10万棟以上の甚大な被害が想定されており、県では、地震発生時の死者ゼロを目指し、早急に実施すべき対策を網羅した『『とくしまー0(ゼロ)作戦』地震対策行動計画』を策定し、対策に取り組んでいる。

地震発生時の死者ゼロを目指すという観点から、河川、海岸、道路などの社会資本について、どのような対策が考えられ、どのような対策を優先させるべきか、土木技術者の視点から、あなたの考えを述べなさい。

【農業】

農業を取り巻く状況は、従事者の高齢化や担い手の不足、販売価格の低迷といった従来からの課題に加え、震災に伴う原子力発電所事故による食の安全性への不安、TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）をはじめとする「グローバル化」の進行による競争の激化など、新たな懸念が生じている。

こうした中、農業従事者の所得向上を図り、本県農業が将来にわたり「魅力的な産業」となるように、県はどのような取組をすべきか、あなたが最も重要と考える課題を挙げ、その選定理由と課題解決に向けた方策について、具体的に述べなさい。

【林業】

森林は、木材供給はもとより国土保全や水源かん養、地球温暖化防止といった、多くの機能を有しており、これらの機能を持続的に発揮させることが重要である。

しかし、木材価格の長期低迷や林業就業者の減少・高齢化、森林所有者の不在村化などにより、森林が放置され、多面的な機能の低下が危惧されている。

本県では、多面的な機能を維持・増進させ、豊かな森林を将来へ引き継ぐことを目的に、平成26年4月に「徳島県豊かな森林を守る条例」を施行したところである。

森林の有する多面的機能を将来にわたり発揮させていくには、どのような取組を進めていくべきか、あなたの考えを述べなさい。

【水産】

水産基本法の理念である水産資源の持続的利用を通じて、水産物の安定供給の確保や水産業の健全な発展等を実現していくための手段の一つとして、「栽培漁業」の推進が挙げられる。1960年代に瀬戸内海から本格スタートした「栽培漁業」は、半世紀の時を経て魚種・数量ともに着実に向上し、国内外から高い評価を受ける一方、未だ、様々な課題が指摘されていることもまた、周知の事実である。

そこで、「栽培漁業」における具体的な課題を2つ以上挙げ、その解決策について、あなたの考えを述べなさい。

【化学】

本県においては、平成25年12月に策定した「第2次徳島県環境基本計画」の方向性の一つである「ライフスタイルの転換」の推進に向け、取組のコンセプトや目標を、県民、事業者、民間団体と共有し、県民や団体等に、自主的な活動を進めてもらうため、平成27年1月に「環境首都とくしま・未来創造憲章」を制定したところである。

そこで、徳島の良好な環境を未来へ継承していくために、あなたが最優先で取り組む必要があると考える環境問題について説明し、その解決に向けて、具体的にどのような施策を行うことがどういう理由で有効であるか、化学職の視点から、あなたの考えを述べなさい。

【心理】

Bowlby, J. によって提唱された概念「マターナル・デプリベーション」について、200字程度で簡潔に説明しなさい。

また、児童虐待への支援について、以下の観点を参考にして、あなたの考えを述べなさい。

- (1) 児童虐待の種類及び児童の発達に及ぼす影響について
- (2) 被虐待児童への支援
- (3) 親や家族への支援、親子関係の支援
- (4) 早期発見、虐待予防、関係機関や地域との連携